



前後町長に提言書を手渡し氏田委員長(左)

## 校名は「猪苗代中学校」に

### 統合中学校の校名に関する提言書を提出

町教育施設適正配置等推進委員会の氏田泰昭会長は7月19日、町役場を訪れ、前後公町長に町統合中学校の校名に関する提言書を手渡しました。6月14日に開催された町教育施設適正配置等推進委員会において、令和4年4月に開校予定の統合中学校の校名を「猪苗代中学校」と承認した内容の提言書を前後町長に提出しました。校名は12月に開かれる町議会の議決を経て正式に決定されます。

## 磐梯山噴火犠牲者を追悼

### 磐梯山噴火殉難者供養祭

明治21年の磐梯山噴火犠牲者を追悼する磐梯山噴火殉難者供養祭は7月15日、西門寺で執り行われ、遺族ら約80人が参列しました。式では、磐梯まつり実行委員長の渡部常男町商工会長が「噴火による尊い犠牲を無にすることなく、私たちにはこの悲惨さを末永く伝えていく責務があります」と式辞を述べました。読経、焼香に続いて前後公町長、長沼一夫町議会議長が供養の辞を述べ、遺族代表の鈴木輝夫さんが謝辞を述べました。



犠牲者を追悼し焼香する参列者ら

## 7品目で「JGAP」を取得

### 宇川ブルーベリー園がJGAP取得を報告

宇川ブルーベリー園園主の宇川進さんと代表の勝久さんは7月19日、町役場を訪れ、前後公町長に農産物の国内版認証「JGAP」取得を報告しました。認証品目はアスパラガス、ギョウジャニンニク、トマト、ナツハゼ、ニンニク、ブルーベリー、ルバーブの7品目。進さんが取得までの経緯などを報告しました。勝久さんは「生産品目の安全性が認められたので、さらにおいしい農産物を提供できるようにしたいです」と抱負を話しました。



前後町長に報告する勝久さん(中央)と進さん(右)

## 7月、アジサイが見頃を迎える

### 見応え十分、亀ヶ城公園のアジサイ

亀ヶ城公園は1191(建久2)年に猪苗代<sup>つむつら</sup>経連が築いた猪苗代城跡とその周辺を整備した公園で、町内外の皆さんに親しまれる憩いの場です。

7月上旬、亀ヶ城公園の「みんなの広場」付近の斜面に植えられている約500株のアジサイが見頃を迎えました。現在はすでに見頃は終わってしまいましたが、例年6月下旬から7月上旬にかけて見頃を迎えます。来年もぜひご覧ください。



アジサイの前で記念撮影する子どもたち



1\_小学生の部で最優秀賞を受賞した喜多見叶暖さんは「地球のためにできること」と題して、農業に励む祖父の姿から感じた地球環境を良くするための考えを発表した  
2\_中学生の部で最優秀賞に輝いた熊田あかねさん。将来の夢をかなえるために今、何をすべきか、何が大切なのかを堂々とした態度で発表した  
3\_発表者と審査員の皆さん



## 未来担う青少年の主張

### 青少年の主張猪苗代町大会

青少年メッセージ2019第32回青少年の主張猪苗代町大会は7月13日、学びいなかで開かれました。大会には町内の小・中・高校から12人が参加し、子どもたちが日頃感じていることや実行していることなどを自由な発想で発表しました。審査の結果、翁島小の喜多見叶暖さん、猪苗代中の熊田あかねさん(=特別賞)、猪苗代高校の吉田睦さんが最優秀賞を受賞しました。



第32回 青少年の主張 猪苗代町大会

## 地域の民話や昔話を紹介

### 第18回いなわしろ民話祭り

「第18回いなわしろ民話祭り」は7月15日、町むかし体験館で開かれました。

民話の発表では、「水の恵みに感謝して」と「語り継ぐおらほの話」の2つをテーマに、いなわしろ民話の会の会員14人が本町周辺地域で語り継がれてきたさまざまな民話や昔話などを紹介しました。会場を訪れた人たちは、遠い昔のふるさとに思いをはせながら、熱心に聞き入っていました。



「龍の剣堀」を発表する阿部重孝さん

## 湖水浴シーズンの安全を祈願

### 猪苗代湖五浜合同浜開き

「猪苗代湖水難事故防止祈願祭並びに五浜合同浜開き」は7月12日、レイクサイドホテルみなとやで行われ、各浜の関係者ら約30人が出席しました。水難事故防止祈願祭では神事が執り行われ、関係者らが玉串をささげて湖水浴シーズン中の安全と無事故を祈願しました。主催者を代表して秦久尚長浜観光協会会長が「猪苗代湖を訪れる人たちが安全、安心して利用できるよう関係機関と連携して環境を整備したい」とあいさつを述べました。



安全を祈願し、神事を執り行う関係者ら